

山形県 戸沢村

とざわむら 議会だより



2p 3月定例会 平成29年度一般会計予算 **39億9,800万円を可決**

3p 委員会報告 産業建設常任委員会・総務文教常任委員会

4~6p 平成29年度 **一般会計・特別会計予算の審議**

7p 一般質問 学校給食の無償化～農業政策、診療所……7議員登壇

14p・15p 特集:戸沢中学校3年生が村に提言!

16p みんなの請願・陳情 人事案件 議会日誌(1月~3月)

18p 地域おこし協力隊が来ました! 鶴川慶三さん・幸代さんご夫妻

委員会報告



村道西沢線の現地調査

産業建設常任委員会

3月14日、請願のあった村道蔵岡下通り線延長の認定についての現地調査と角川田代地区の村道新設予定地、雪崩等の状況確認を行いました。

田代地区の村道西沢線は、角川と並行しており、河川側の路肩を擁壁で保護しているが、擁壁の基部が洗掘されていることや震災以降岩盤の崩落も

確認されている。山側は、地すべり指定区域であり、地元住民の不安を払拭するため、現道の改修工事ではなく、新たに迂回する道路の新設工事を実施するものです。

雪崩の危険個所の調査では、雪も少なく特に危険と思われる箇所はありませんでした。

現地確認終了後、2件の請願について、審査を行いました。

総務文教常任委員会

去る3月14日総務文教常任委員会を開催しました。

請願の審査終了後、ぼんぼ館の視察研修を行いました。ぼんぼ館は開館から20年以上経過し、施設の老朽化が進んでおり大規模な改修が必要な状況になってきています。

当日は、荒川専務の現況の説明後、職員から設備及び機械関係の説明を受けました。経年劣化に伴う不具合も考えられ、機械の更新も今後必要と思われる。また、建



ぼんぼ館

物についても雨漏りがあることから、早急な修繕が必要と判断したところ

です。

委員からは、サウナ設備の修繕も必要ではとの意見などもあり、行政側

地方創生に係わる提言書を提出

3月8日の議会初日に、地方創生調査研究特別委員会岡田委員長より早坂議長に対し、地方創生に係る答申書の提出があり、3月15日の議会最終日に議会の総意として、議長より渡部村長に対し、提言書を提出しました。

提言書の内容

地方創生調査研究特別委員会では、16回の委員会を開催し、若者の人口流出の防止、移住の推進など4千人を割らない施策の展開や高齢者が元気で楽しく生活できる社会の実現をめざし、次の通り提言書をまとめました。

一、人口減少対策・子育て支援

- ・空き家バンクの設置と若者層が収入に関係なく入居可能な住宅整備
- ・プレミアム商品券を活用した独自の施策や学生の帰村定住を条件とした奨学金制度拡充
- ・廃校等を活用した学童疎開等の検討

二、産業振興・雇用対策

- ・水田の畑地化による園芸作物の産地化

から、平成29年度に長寿命化対策として640万円を予算化し、大規模な修繕に向けて計画的に取り組むとの説明でありました。



地方創生に係わる提言書の提出

三、医療、福祉政策

- ・在宅医療を念頭に置いた医師2名体制に向け、早急に医師の確保を図る
- ・いつまでも健康で元気に暮らすため、健康診断の受診率の向上と介護予防等が一体的に提供されるシステムの構築

議案の主な内容

◎一般会計当初予算

平成29年度一般会計当初予算は、前年度に対し5・5%減の39億9,800万円となりました。

特別会計は、へき地診療所特別会計が一般会計に組み込まれたことから6会計で11億4,120万円となり、一般、特別を合わせた7会計で総額51億3,920万円が提案され可決した。

29年度予算の概要は、

新保育所の建設2年目における予算の計上や中学校のグラウンド整備事業及びスクールバス格納庫整備事業、全国女性消防操法大会出場経費、畜産施設建設に向けた地域協議会の設置、「ぼんぼ館」長寿命化改修計画策定業務、東京戸沢会30周年記念事業費等を計上しています。

また、子育て支援、高齢弱者対策の充実、小売商業の振興、農業指導の充実、持ち家住宅整備の助成等継続計上し、村民の負託に応える村づくり

を推進する予算となっています。

◎一般会計補正予算

平成28年度一般会計予算に歳入・歳出それぞれ8,400万円を増額し、一般会計の総額を歳入歳出それぞれ、46億1,600万円とした。

歳入

地方交付税

普通交付税が1億3,230万円増額され、補正後は、20億9,656万円となりました。

歳出

総務費

- ・財政調整基金8,000万円、ふるさと応援基金1,700万円、地域振興拠点施設(ぼんぼ館)2,000万円をそれぞれ積立。
- ・地域おこし協力隊事業で、4月から2名の隊員が就任することに伴い住居等の修繕費に200万円を増額。

民生費

- ・障害・遺族年金の該当者の減に伴い、臨時福祉

給付事業費で370万円の減

衛生費

- ・妊婦健診の人数の増に伴い、各種検診委託料で10万円の増

教育費

- ・小中一貫校の開校に伴い、厨房のシンクの購入及び設置経費として、学校給食費に82万円の増

主な条例改正

戸沢村看護師育成修学資金貸付基金条例の設定

最上地域の医療を支える看護師及び准看護師の育成確保を図ることを目的に、最上管内の各市町村と最上広域事務組合が連携し、条件を満たした場合、給付型の修学金とするものです。

戸沢村長等の給与の特例に関する条例の設定

近隣市町村の特別職俸給の状況を加味し、引き続き減額するもの。

村長が10%、教育長は5%の減額になります。

- Q** 土地貸付収入の額に「紅」への土地の貸付金額は入っているのか
- A** 現状土地の貸付金額は入っておりません。土地の相続問題等があり村の観光振興策としてご理解をいただきたいと思ひます。
- Q** 平成二十八年度のふるさと納税の寄附金の総額は、それに伴う返礼品の総額は
- A** 寄付金の総額は2月末現在で5千8百万円です。一番人気は、つやひめ、はえぬき、ひとめぼれの米の食べ比べセットです。返礼品の総額は3千580万円です。
- Q** ぼんぼ館の施設整備費の計上がありますが、利用者からの要望の多いサウナ設備を整備する考えはないか
- A** 施設の老朽化に伴いいろんな部分の修復が必要になってきています。源泉供給部分の修繕をメインに全体枠の中で検討していきたいと思ひます
- Q** 新しいハザードマップ

- Q** 新規事業の免許返納者65歳から74歳を対象にしたタクシー券の助成事業は何名の返納者を見込んでいるのか
- A** 返納者の数についてはわかりませんが全国的に高齢者の事故が増加している中、早めの対応が必要と判断し事業化致しました。
- Q** 高齢者除雪事業扶助費は、村民の要望を考慮し要綱を見直す時期ではないか
- A** 平成3年に施行された事業で、すでに25年が経過しております。行政と議会で協議を重ね現況に合った要綱にしていくな必要があると思ひます。
- Q** 公民館サロン事業が好評であるが今後については
- A** 現在12地区で開催しております。運動、健康、栄養につきまして各テーマについての話し合いや

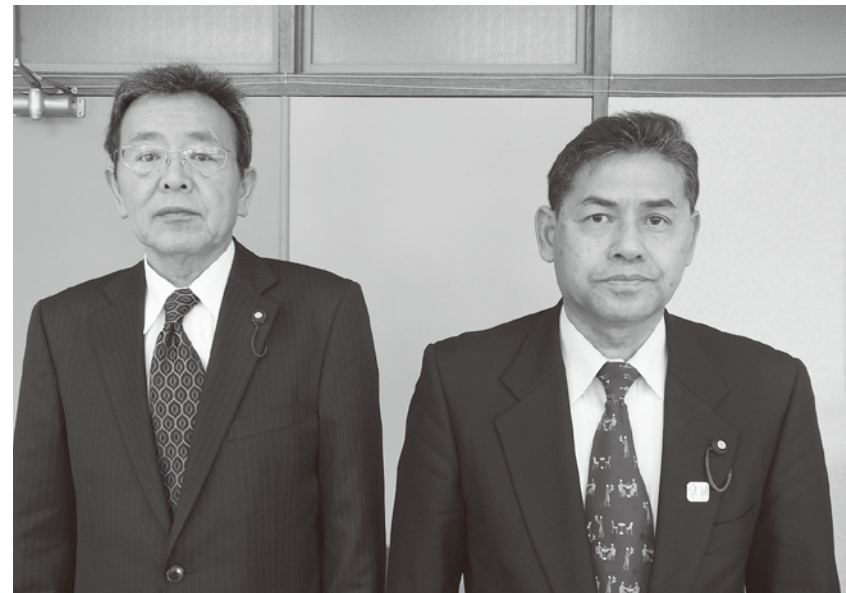


予算特別委員会

- Q** 農業の平成三十年問題についての対応は
- A** コメの水田活力交付金一反歩7千500円がなくなるため飼料米の情報も集めながら農家の支援に対応していきたい。
- Q** 農業次世代支援事業の現状は
- A** 現在3名が経営開始型による支援を受けています。トマト、ししとう、きゅうり、ネギ等の栽培を実施しております。
- Q** 養豚事業の進捗状況は
- A** 土地については周辺同意も含めてほぼ同意をいただいておりますが一部合意に至っておりませんので現在交渉中であります。
- Q** 小学校廃校に伴う利用について、地域への説明はどうするのか。
- A** 4月以降地域に入っ



旧戸沢小学校



左：富樫副委員長 右：田中委員長

平成29年度 一般会計 予算審議

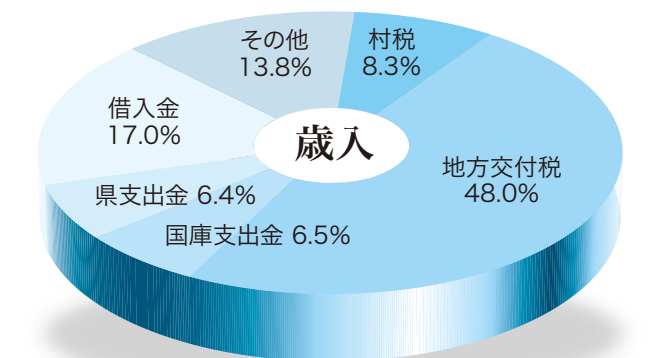
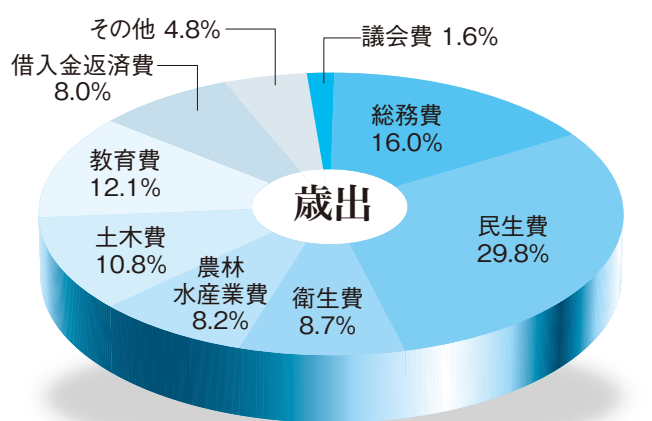
予算特別委員会の一般会計の審議は3月10日・13日の2日間に渡り開催され、全委員による活発な質疑が行われた。

平成29年度 戸沢村一般会計予算

歳 出	予 算 額	前年度比較
議 会 費	6,239万円	101万円
総 務 費	6億3,766万円	3,231万円
民 生 費	11億9,205万円	2億3,884万円
衛 生 費	3億4,881万円	7,243万円
農 林 水 産 費	3億2,893万円	△2,411万円
土 木 費	4億3,266万円	24万円
教 育 費	4億8,182万円	△5億4,716万円
借入金返済費	3億2,116万円	991万円
そ の 他	1億9,252万円	△1,747万円
支 出 合 計	39億9,800万円	△2億3,400万円

歳 入	予 算 額	前年度比較
村 税	3億3,287万円	295万円
地方交付税	19億2,000万円	△3,000万円
国庫支出金	2億5,876万円	△2億9,199万円
県 支 出 金	2億5,756万円	5,823万円
借 入 金	6億7,840万円	△7,070万円
そ の 他	5億5,041万円	9,751万円
歳 入 合 計	39億9,800万円	△2億3,400万円

平成29年度 戸沢村一般会計歳入歳出予算



- 質疑応答の概要**
- Q** 地方交付税の今後の見通しは
- A** 前年度に比べまして三千万円程減る見込みです。
- Q** 村施設使用料で中央公民館の使用料より若者センター使用料が多いがなぜか
- A** 若者センターと野球場などの周辺施設全部の施設の使用料です。
- Q** 村の六期計画に載っている山ノ内地域の地域密着型の福祉施設は現段階で必要なのか
- A** 山ノ内地域の活性化の為に判断して施設の計画を推進しています。
- Q** 村で取り交わしている確約書について県の認可が降りない時は村は責務を負う必要はないのか
- A** 三月十七日に山形県の審査がありますのでその結果を受けて対応していきます。
- していききたいと思います。
- Q** 小学校や中学校での「いじめ」はないのか
- A** いじめ関係のアンケートを子供並びに保護者に年3回実施しております。いじめの件数ですが小学校で3件、中学校で1件です。
- Q** 学校給食におけるアレルギー対策は
- A** 毎年度保護者から聞き取りを行いアレルギーのある子どもには血液検査の結果を提出いただき給食で提供していいものを保護者と協議しながら進めています。

一般質問



富樫 義人 議員

問 学校給食について2点伺います。1点目は戸沢村で作られた米や野菜など、学校給食にもっと増やす考えはないのか。2点目は学校給食を無料にする考えはないのか。

村長 児童生徒が、地域の自然、食文化についての理解を深めることや生産から流通過程を理解することにより、食べ物への感謝の心を育むなど、教育的効果が期待されることから、地産地消に取り組んでおり、今後も拡大を図っていく方針です。学校給食の無償化についてですが、学校給食法で厨房施設の維持管理費や人件費は自治体負担、それ以外の食料費は保護者が負担するとなっています。要保護、準要保護児童生徒に対しては、給食費を含んだ援助をしています。平成29年度は無償化を考えておりません。今後、関係部署で検討し考えていきます。

問 鮭川村は、29年度から無償化を決定していま

す。ふるさと納税等の財源を確保し無償化できないのか伺います。

村長 学校給食の無償化は、新聞でもあるようにそういう流れにあるのかと思います。皆さん方のご意見を拝聴しながら進めていきたいと思っています。

問 文部科学省から教育の改正案が出され、平成31年度より小学校にも英語の教科が入ります。村として、どう取り組んでいくのか。

教育課長 現在、ALT（注1）1名を派遣していただいています。今

小学校の英語 教育の取組は



中学校の給食

バス通学に伴う 児童の体力作りは

問 小学校が新校舎になり、全員バス通学となりました。以前は、児童の体力づくりや危険を予知する能力を身に付けることも教育であるというところで、3キロ圏内は徒歩通学と一貫した説明でありました。それに代わる体力づくりをどのように考えているか。

後、英語力をつけていくことが大事でありますので、増員について検討していくことが必要と考えています。また、教職員も年2回、外国語の研修を行っています。

教育長 共育課程の中で、子どもたちの体力づくりを図っていきますので、学校経営方針に取り上げ、学校が主体的に行うこととなります。教育委員会としても、学校と連携を取り、体力づくりが上手に図られるよう支援していきます。

最後に、子ども達の体力づくりの考えがあるなら、角川、古口地区の子ども達は古口大橋で、戸沢地区の子ども達は中央公民館でバスから降り、月に何回か歩かせるといふ考えを希望いたします。

（注1）ALTとは、日本の学校で外国語授業を補助する助手。外国語指導助手。



小学生のバス通学

平成29年度 戸沢村特別会計予算

会 計 別	本年度予算	前年度予算
へ き 地 診 療 所	—	8,000万円
国 民 健 康 保 険	1,000万円	3,180万円
後期高齢者医療	4,740万円	4,730万円
簡 易 水 道 事 業	2億1,540万円	2億1,770万円
公共下水道事業	1億100万円	9,200万円
農業集落排水事業	1億2,400万円	1億3,470万円
介 護 保 険	6億4,340万円	6億6,680万円
合 計	11億4,120万円	12億7,030万円

平成29年度 特別会計 予算審議

特別会計の審査は、3月13日に一般会計の審査終了後に行い、各会計の冒頭に担当課長より説明を受け、質疑が行われました。

質疑応答の概要

簡易水道事業特別会計

Q 水道管で、石綿管が埋設されている部分の延長と今後の改修計画は。

A 石綿管の埋設されている延長は、高規格道路がタッチする国道47号線の部分に200mと保健センター裏の村道部分に20mあります。

国道の埋設箇所は、高規格道路の工事で撤去され、保健センター裏は、29年度に更新します。

介護保険特別会計

Q 村内の方は、まごころ荘に入所を希望していると思いますが、入所希望者の状況は。また、今後高齢者が増えていくと思われるが、村としての見通しは。

高規格道路 国道47号線交差点

A 要介護度3以上でないとい入所できません。最近の入所判定審査会の結果では、村内外の待機者は18名となっています。これから高齢化が進んでいくのは間違いないことであり、どう推移するかわかりませんが、包括支援センターで調査しながら、要支援段階でとどめるような対策が重要と考えています。

Q 村内に、民間の介護施設もあるが、入浴や食事等について、何らかの基準を基に、村として適切な指導が行われているか。

A 入浴に関しては、そのサービスを利用する場合、ケアプランの中で入浴が必要かどうかによって、同じ施設を利用していても、できる方とできない方に分かれます。食事に関しては、県の管轄になっていきますので、把握しておりません。



まごころ荘 読み聞かせ

一般質問



岡田 孝一 議員

大きく変わる農業政策 村長はどう導くのか

問 平成30年度より経営所得安定対策、米に関わる施策が大きく変わります。戸沢村の主要産業である農業において、村長自身の現状認識と今後の政策展開をどのように考えているか伺います。

村長 国の生産目標数量の配分が廃止され、県で需要に応じた生産推進方針を検討するためワーキンググループを設置し、米生産の基本的な考え方を検討しています。稲作農家にとっては、支払交付金制度も廃止されるなど大変厳しい状況にあります。このことから、稲作依存の脱却を図り、畑作振興の取組みを強化してまいります。また、養豚企業の参入を進めており、堆肥の無償化や飼料



田植え

用米の受け入れ、加工販売など農業者と一体的に取り組んでまいります。

問 稲作から脱却して、畑地化に力を入れる。畑作振興は非常に大事だと思います。村長の強い思い、何とかしていきたいという思いをお聞かせいただけますか。

村長 本村農業は、他に比べ稲作依存度が高く、稲作にダメージが来ると思われます。畑作、6次産業を含め、上手くミックスしていく必要があると考えています。また、

養豚企業の参入と飼料用米300ha作付けなど、これらも活用しながら、農業振興をきちんとやっていきたいと思っています。

問 ほ場整備事業で40haの水田畑地化が整備されるが、新規作物等、これを埋めるだけの畑作振興が、大きな問題と思っています。地域の雇用環境

村外からの新規 就農者募集の考えは

整備と畑作振興を同時に考える上で、国の新規事業である「中山間地農業ルネッサンス事業」に取り組み、新規就農者を村外から募集してはどうか。

村長 国では、地域による農地等の資源の維持・継承を図り、特色を生かした農業の展開、農村への移住、定住促進等を目的とした事業が始まっています。こうした事業を行うことにより、地域が発展していきますので、情報収集を行いながらやっていきたいと思っていますし、大型事業も終了することから、ソフト事業も含め、こうした事業に予算も考え、地域に若い人が定住する仕組みを考えていきたいと思っています。



パプリカ栽培

トップセールスの 成果は

問 就任以来、村のトップセールスマンということで、農産物の販売に力を入れてきたと思います。具体的な成果は。

村長 具体的にはパプリカの3越やアンテナショップにも何回か行っていましたが、販売のロット数が小さく、大きくはできませんが、PRも含めトップセールスを行ってきました。また、物産交流での販売や角川カブの出荷の話もありますので、少しずつでもやっていければと思っています。

診療所の医師 2名体制への取組は

一般質問



田中 奨 議員

問 全国的に高齢化社会を迎えていますが、戸沢村でも団塊の世代が75歳になる2025年には、2人に1人が高齢者になると予想されており、何の不安もない老後を迎えるため、しっかりと医療体制が求められています。中央診療所の医師2名体制は進んでいるのか。

村長 現在の渡邊医長は退職まで3年ですが、退職後も勤務して下さると伺っております。また、在宅医療を考えたときに、退職1年前には2名体制が望ましいとお聞きしており、村として、県に対し毎年「公立診療所の運営状況調査」に要望しています。医師確保は、非常に難しいことであり

ますが、無医村状態は、絶対に避けなければならぬと強く感じております。今後、総合支庁の保健福祉部長はじめ、医療監への協力要請、さらに県の地域医療課長等に対し強く要望してまいります。

問 村内各所で、クマ、ハクビシン、サル等が目

農作物の鳥獣 被害対策は

撃されています。大きな被害の報告はないが、西日本では、行政を含め地域全体で取り組むなど深刻な状況にあります。

ワナは、クマ、イノシシ等に効果がありますが、サルに関しては、猟友会へ委託し、定期的な見回りを実施してはどうか。

村長 猟友会の評議員会で「見回り」が可能か聞きましたが、村からの要請があれば可能でないかとの意見でありました。ただし、クマ等の危険回



中央診療所

今後の村政運営は

問 平成30年度で学校や保育所の大型事業が終了し、今後、厳しい財政状況の中で、人口減少、少子高齢化、人材育成、健

康づくり等、安心して暮らせる村づくりをどう進めていくのか。

村長 平成24年度の戸沢中学校舎の建設が始まり、ここ数年、大型事業に取り組んできました。平成30年以降は、少子高齢化の進展、一層進む人口減少等、多くの課題が山積しており、一人暮らしの老人への対処、医療や健康づくり、交流事業や観光振興対策、雇用対策、教育歴史文化の一層の発展のために、ソフト面での取組みを重点的に進めていきます。



熊の有害駆除

一般質問



加藤 臣一 議員

戸沢村の現状と 今後の取り組み方は

問 村民が、夢をもち元気で豊かに生きていく源は、住民の所得の向上を図ることが喫緊の課題であるが、村政全般に渡りその兆しは見えず、住民は不安を抱いております。第1次産業、第2次産業、第3次産業に対し現況を見据え、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

村長 人口問題研究所の推計では、23年後に2811人で、生産人口が1500人減る推計です。産業全般にわたり人手不足を招き、税収の減少、医療費の増大、地域経済の低迷など、多くの影響が出てくると予想されます。「安心安全な村づくり」を基本としながら、産業の振興を図ってまい

ります。第1次産業では、農業政策が大きく変わろうとしています。現在進めている基盤整備事業を基軸とした農業振興、畜産事業への取り組み等、2次産業では、製造業を中心とした雇用の確保、企業誘致は限界があることから、新庄中核工業団地など広域的な取り組み

を図っていく必要があります。3次産業では、最上峡を資源とする観光振興を図っていきます。また、外国からいかに誘客を図るかが鍵となるので、情報を簡単に入手できるワイファイの整備が不可欠です。合わせて、体験型観光や農業と関連した観光を推進していきます。

問 1700程の自治体があるが、職員でネームプレートをつけていないのは戸沢村だけであると思う。付けさせることが出来ないか。

村長 勤務規程には、「職員は、村民全体の奉仕者としての職責を自覚し、法令、例規等及び上司の職務上の命令に従い、

誠実公正に、かつ能率的に職務の遂行に専念しなければならぬ」とあります。各課長を通してつけるよう指示しています。各種会議等では、ネームプレートの着用も図られてきています。公務員としての自覚と気構えを持つよう指示していきたいと思っています。



高麗館

問 高麗館を最上峡芭蕉ライン観光に指定管理として締結しているが、協定書に定めている事を遵守しているか。

村長 指定管理者は、条例に基づき公募を行い、議会の議決を経て指定しています。村と指定管理者で31条からなる基本協定を締結し、更に毎年度、

協定書を締結し管理料を定めています。協定書の内容は、施設維持管理運営委託料600万円で、そのほとんどは、指定管理者より業者に支払われているものです。イベント開催費用は50万円で、実績に応じて支払っています。

職員のネーム プレート着用は

指定管理業者との 基本協定は円滑か

地域づくりに 対する新たな支援は

一般質問



早坂 信一 議員

問 現状の地域づくりの支援策として「地域づくり交付金制度」があり、施行より5年が経過し一定の成果がでていると思います。一方で地区会単位の制約がある為に村民の要望に対応できない部分も出てきています。村民の要望にあわせて要綱を見直すべきと考えますがいかがでしょうか。

村長 「地域づくり交金制度」は村の第四次総合計画の創設に合わせ平成24年度より実施されております。その目的は村民による主体的な連携と交流による元気な地域づくりを推進するものです。世帯数の少ない10戸未満では95%、81戸以上が70%と大変有利な交付金として創設したものです。

問 戸沢村は言うまでも無く県内でも有数の豪雪地帯であります。雪との戦い、雪に苦しめられる冬であります。そんな中で、なんとか地域に活力をだそうと冬の元気づくりに取り組んでいる団体があります。こうした地域

雪を利用した 冬の政策は

の知恵を結集した新しい戸沢村の冬の風物詩が、豪雪地域である負のイメージを払拭していくものになると思います。村として冬のイベントに挑戦するべきと考えるがいかがでしょうか。

村長 冬のイベントとして「蔵岡紙風船まつり」や「角川雪回廊物語」等民間の主催で実行されています。大変注目を浴びており、雪国の風物詩と



角川雪回廊物語

して、今後発展していく可能性は十分あると考えます。また各集落には、昔から伝わる習わしがあります。こうしたものも含め、冬の誘客イベントとして必要と思っております。地域が実施主体となり多くのノウハウを持った民間主導で進め、村がそれを後援しバックアップ体制を強化していければと考えます。冬のイベントなので駐車場や安全

確保の問題など様々ありますので村として対応を検討していきます。

村の情報伝達 政策について

問 IT情報化時代において、ペーパー伝達から電子化伝達へと替えていく必要があると考えます。特に回覧板などは「電子回覧板」として地区会長、地区役員の皆様の負担軽減になると考えるがいかがでしょうか。

村長 昨今はペーパーレス化に進んでおり、スマートフォン、タブレットによる情報伝達が急激に進んできています。全体の流れの中では、電子化にありますが、受け取り側の機器の整備が十分ではありません。そのような中、山形大学東北創生研究所による蔵岡地区での実験で、タブレットを使って高齢者や地区会長、民生委員、行政とのやり取りが成功致しました。今後の高齢者の見守りや地域情報伝達の指針になったと思います。

一般質問



加藤 政一 議員

地域医療充実に向け、 医師の2名体制を！

問 最上川舟下りが、観光産業のメインになって

観光客増加に向けた取り組みは

問 健康寿命を伸ばし、介護予防に向けて地域医療の充実を図るためにも医師2名体制が望まれています。どう取り組んできたのか。

村長 田中議員の答弁と同じですが、渡邊医長の意思を尊重しながら進めています。国も在宅医療の方向で進んでおり、医師の2名体制は必要ですが、医師の確保は、大変困難な状況であり、情報を集め2名体制に向かって確実に進んでいくよう頑張っています。

いるが、観光客に好印象を与えることや通過型から滞在型に向けて、古口駅周辺の整備、指定文化財の活用、東北自然遊歩道の整備をどう考えているか。

村長 古口駅周辺整備構想は、平成12年に計画が策定されました。計画を推進するには、駅前の土地の一部を取得する必要がありますが、平成17年に1250㎡を取得しましたが、計画している施設の整備には至っていません。村

の玄関口である古口駅を平成26年度に陸羽西線百周年に合わせ整備し、観光のPRを行っています。古口駅周辺の整備は、関係団体を含め、様々な角度から検討を進めていきたいと考えています。

また、指定文化財の検討は、舟下りとの位置関係から仙天堂の利活用が考えられ、補助事業の活用により、平成27年度に絵馬等の修繕を実施し引き続き保全していきます。東北自然遊歩道の整備



保健センター「みんなですっぺ。健康づくり」

については、平成8年度に木道、橋、転落防止用手すり等を整備し、観光資源として活用しています。現在は、雪解けによる危険なため利用できない状況ですが、舟下りと合わせた観光資源として重要と考え、支障木の撤去を村単独事業により実施する計画ですが、全体的な整備は、国と県が協議を行っており、今後、県の事業で整備を図る計画です。

問 草薙地区の共有地問題をいつまで解決するのか。

村長 相続人を確定することが必要であり、現在戸籍の取り寄せ作業を進めています。しかし、相続関係が複雑になっており、専門の方と相談し、相続人が確定したものの、登記の手続きを進めています。



古口駅前通り

観光客の誘客を目指した振興策は

一般質問



小野 宏 議員

幻想の森までの道路整備は

問 幻想の森までの林道は、砂利道で幅員も狭く安全に通行できるように、退避場等の整備をする考えはないか。

村長 幻想の森までの林道は、現在、併用林道として村が維持管理しています。道路改修については、国、県のいろんな指定区域になっているので、今後、協議を行い整備の在り方について慎重に検討していきます。

問 国道47号から幻想の森に入る林道の入り口が分かりづらいことから、ひと目でわかる看板の設置が必要と考えるが、村長の考えは。

潜在型観光への方策は

問 通過型の観光から戸沢村に長く留めるために、滞在型の観光プログラムが必要と考えるが、どのように考えているか。

村長 高規格道路が、今後どのように計画されるのかなど、総合的に判断し、進めていきたいと思っています。



幻想の森

産業振興課長 滞在型として、教育旅行の受け入れ、インバウンドでは、雪体験等、村の観光資源を活用し、舟下りと合わせて行っています。また、宿泊施設と連携し、周辺のイベント等を紹介しながら行っています。

問 滞在型として、舟下り、幻想の森、浄の滝等の観光資源を巡り、「全国歌人・俳人サミット」を考えてはどうか。

村長 最上峡は、最高の

条件であり、良いアイデアであり、内部で検討したいと思います。

幻想の森にトイレの設置は

問 幻想の森にトイレがなく不便だと聞きます。トイレを設置する考えはないか。

村長 国の緑の回廊、植物群落保護林、県立自然公園等、法律等により指定されている地域であり、自然環境を保護することを最優先と考えています。

観光客の利便性を考える上では、分らないわけではないが、国、県と協議しながら、慎重に検討していきます。

問 県内で指定されている公園の多くは、トイレが設置されています。訪れる住民、観光客の自由を解消することが役目と思うが伺います。

村長 必要性はわかりませんが、かつて、浄の滝にトイレを作った経緯もあります。自然環境を守りながら、各関係機関と協議し、前向きに考えていきます。



幻想の森へ続く林道

草薙地区の共有地問題は

戸沢中学生徒



〈青柳琳子さん〉

「住みやすく、活気あふれる戸沢村づくり」

自動車専用道路が開通すると蔵岡く古口間の交通量が減り、蔵岡地区の過疎化・高齢化が進むのではない。蔵岡く津谷に橋を架けると、村の二大観光施設の高麗館・ぼんぼ館と「学びの丘」へ津谷駅のアクセスが良くなる。バスを走らせると電車で高麗館やぼんぼ館を訪れることも可能になる。

〈土田璃未さん〉

「高麗館が輝く村づくり」

戸沢村が直面している高齢化社会の対策として、定年退職直後の「若手高齢者」を雇用して、「後期高齢者」の介護サービスを実施する。年金受給前の「若手高齢者」と「後期高齢者」の両方が助かる。

紙面の関係で全部を紹介できないのが残念ですが、来年も開催を予定しておりますので、是非参加してみてください。

が村に提言！



去る12月26日に、戸沢中学校3年生48人による、「村への提言」の会が開催されました。小学校総合の時間から合わせて7年間、地域の人々から学ぶ地域学習を続けてきた集大成として、学んだことをもとに、生徒達が、「自分の生まれ育った戸沢村がどのような村になってほしいのか」、「どのように活性化して行ったら良いのか」を一人ひとりが調査研究した成果を具体的なゴールを思い描きながら発表しました。この会は昨年からはまり、今年で3回目の会です。

生徒達はコンピュータを駆使し、自分の思い描く戸沢村を数枚の大判用紙にまとめ、村議会議員全員と渡部村長、各課長、教育委員他多数の来賓が見守る中、堂々と発表していました。その姿は大変頼もしく感じられ、将来の戸沢村を背負って行ってくれるだろうと安心しました。発表のテーマは以下のように、自分の足下を見つめ、将来への夢を語るものが多く、聞き応えがありました。一例を紹介します。

No.	氏 名	課 題	ゴ ー ル
1	秋保 丞志	高齢者が健康に暮らし、老後も楽しめる戸沢村	高齢者が利用しやすく楽しめるように施設を整備する。
2	阿部 光希	高齢者が過ごしやすい戸沢村	高齢者が利用する施設の充実。バリアフリーを増やす。
3	荒井 駿介	子育てがしやすい戸沢村	育児しやすい環境を整える
4	大坂 優輝	戸沢村に活気をつける。	地区ごとの祭を集めた『戸沢集合祭』を開催する。
5	甲州 続	ふるさと納税を増加させるには	戸沢村関連商品を開発する
6	齋藤 大地	安心して遊べる新戸沢小中学校グラウンド	新戸沢小中グラウンドにフェンスを作る。
7	土田 璃来	高齢者が輝く村作り	「若手高齢者」による「後期高齢者」の介護サービス事
8	藤澤 一郎	高齢者が住みやすい戸沢村	食品の移動販売をする。
9	皆川 桜介	戸沢村と鮭川村が協力したスポーツ強化策を考える。	山形県ジュニア駅伝の順位を上げる。
10	矢口 夢翔	廃校を利用して、村民が暮らしやすくなるような村を作る	宅配サービスの拠点として、廃校舎を利用する。
11	山科 夏輝	運動が盛んな戸沢村	運動施設と公園を補修・整備する。
12	横山 裕太	観光客がアクセスしやすい戸沢村	自動車専用道路完成後の蔵岡地区を活性化する。
13	荒川 愛利	観光客でにぎわう戸沢村	旧古口小学校を観光施設として利用し、観光客を増やす
14	伊藤夕津紀	村の空き屋利用補助をアピールし、戸沢村に移住する人を増やす	空き家を利用した民家型家庭料理飲食店を増やす。
15	柿崎 穂	観光客が多い戸沢村をつくる	旧校舎を利用して宿泊施設にする。
16	高橋 楓	戸沢村の自然をたくさんの人に知ってもらう	自然豊かな戸沢村の良さを知ってもらえるように「妙見塾」を復活させる
17	古澤 静香	おいしい食べ物がたくさんのにぎやかな戸沢村	特産品の収穫体験、料理体験。
18	荒川沙紅羅	子供たちが輝ける未来の戸沢村へ	旧校舎を利用し、地域で学習のできる場を増やす。
19	斉藤 沙奈	観光客が多く集まり活気ある戸沢村	今ある観光施設を改良し、全国に戸沢村の観光を発信す
20	矢口 杏	高齢者や子供が過ごしやすい戸沢村	施設のバリアフリー化を進めて、高齢者と子供が活動で
21	山口 りな	安心して暮らせる戸沢村	使用しなくなった建物を利用して見せや食品宅配業社を
22	山科 実夢	観光が盛んな戸沢村	廃校を利用して宿泊施設にする。
23	秋保 裕翔	住みやすい村づくり	店が増え、人を呼び込める村にする。
24	伊藤 幸裕	運動が盛んな戸沢村	若者センターグラウンドを人工芝にし、照明を付ける。

No.	氏 名	課 題	ゴ ー ル
25	柿崎 優斗	暮らしやすい戸沢村	村にスーパーを作る
26	小屋 優登		
27	寒河江一真	親子が外に出て遊べるアクティビティーな村	最上川を渡るロープウェーとカヌー特設コースを作る。
28	佐藤 唯人	戸沢村への観光客を増やす	お店を増やす。
29	高橋 永遠	観光客が楽しめる戸沢村	遊園地や屋外で遊べる施設を作る
30	滝口 峡	奥の細道ラインを元気に	白糸の滝ドライブインのリフォーム。周辺の活性化。
31	富樫 洸太	生活のしやすい戸沢村	戸沢村にスーパーマーケットを作る。
32	早坂 政範		
33	星川 和希	廃校になった旧小学校校舎の活用	4つの小学校校舎を活用する方法を考える
34	山崎 瞬	運動がたくさんできる戸沢村	土日利用できる運動施設を作る。
35	山科 蓮	安全に過ごせる戸沢村	熊のパトロール
36	青柳 琳子	住みやすく、活気あふれる戸沢村づくり	地域の住民同士のつながりを深める。
37	大山 佳奈	住み心地がよい戸沢村	スーパーや公園を作り、バスを走らせる。
38	影澤 南奈	戸沢村の特産物を広める	自動車専用道路の出口付近に直売所を作る。
39	蔵津 麗	動物を愛する戸沢村	野良犬・猫の里親を捜し、野生動物の殺処分「0」
40	甲州 旭陽		
41	齊藤瑛璃佳	戸沢村内に転入する人を増やし、村人と交流をはかる	多くの転入者を呼べる環境・イベントを作る。
42	鈴木 智笑	気持ちよく通ることができる「戸沢道」を作る	ゴミのない環境の道路を作る
43	田中 陽菜	活発な戸沢村	高齢者との交流を増やし、戸沢村の伝統を守る。
44	中鉢 楓花	誰でも気軽に訪れることができる戸沢村	畑や田んぼの体験を行えるようにする。
45	矢口 もも	観光客が多く訪れ、交流あふれる戸沢村にする	農業体験用の宿泊施設を作り、都会の人に農業体験をしてもらう
46	山内 唯生	地域の活性化を図る	山形県ふるさと納税ベスト8に入る
47	長南 翼	戸沢村を有名にする	地元の食材を生かしたお菓子屋さんをつくる。
48	星川 侑希	活気あふれる戸沢村	廃校を利用して地域の遊び場にする。

みなさんの 請願・陳情

採択されました

◆村道（蔵岡下通り線延長）認定と整備についての請願

蔵岡地区会
会長 芦原 光喜

・採択理由

本道路は袋小路を解消し、災害時及び緊急車輛の円滑な通行を確保するため。

・提出者
戸沢村大字蔵岡1-1-1



蔵岡下通り線

継続審査

不採択

◇「共謀罪」と同趣旨の「テロ等組織犯罪準備罪」創設に反対する意見書の送付の請願

◇「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願

・提出者

戸沢村大字古口2939-12

戸沢村労働協議会

議長 影沢 智志

・継続審査の理由

調査・検討を要するため。

・提出者

山形市大字門田字裏城1

農民運動山形県連合会

会長 小林 茂樹

・不採択の理由

農業者戸別所得補償制度に代わる新たな制度が検討されているため。

人事案件

人権擁護委員の推薦



氏名 矢口 信一
住所 戸沢村大字松坂364-7
年齢 64才

任期満了となる矢口信一氏の再任が、議員全員の同意を受け、法務大臣に推薦されます。

早坂議長

全国町村議会議長会

特別表彰



全国町村議会議長会特別表彰の伝達

議会議長の早坂文也氏は、山形県町村議会議長会理事の要職にあったことから、全国町村議会議長会より特別表彰を受章し、3月定例議会において、岡田副議長より伝達されました。また、山形県町村議会議長会より、議長職5年以上の功労を称え、自治功労者表彰も受章しております。

早坂議長

最上地方町村議会議長会

会長に就任



早坂議長は、平成29年4月より、最上地方町村議会議長会会長に就任し、これに伴い、山形県町村議会議長会副会長及び、山形県後期高齢者医療広域議会の第2区選出の議員に就任しております。

議会日誌（1月～3月）

1月

6日 県町村議会議長会理事会
11・12日 新庄湯沢道路同盟会中央要望
トップアスリート講演会
13日 戸沢村新春の集い
16日 議会広報委員会
17日 第1回戸沢村議会臨時会
24日 例月出納検査
26日 沖縄市産業まつり
27～29日 最上広域沖縄交流
28日 新庄祭り世界遺産登録記念事業
29日 戸沢小学校スキー大会

2月

1日 最上広域消防西支署竣工式
3日 戸沢村農業再生協議会総会
14日 県町村監査委員協議会総会
最上県勢懇話会
15日 陸羽西線鉄道高速化講演会
16日 県町村議会議長会総会
第3回角川雪回廊物語
20日 例月出納検査

3月

21日 予算内示会
21～22日 最上町村議会正副議長会議
22日 広域事務組合議員懇談会
27日 広域連合 議運・全協
28日 県町村議会議長会理事会
議会運営委員会
1日 最上広域連合議会3月定例会
2日 村老人クラブカラオケ大会
3日 議員全員協議会
地方創生調査研究特別委員会
4日 蔵岡紙ふうせん祭り
6日 「舟下り議会」船中意見交換会
9日 3月定例会本会議
10日 本会議、予算特別委員会
13日 予算特別委員会
14日 水田畑地化推進計画報告会
15日 常任委員会
16日 本会議
19日 戸沢中学校卒業式
最上広域議会運営委員会
23日 戸沢小学校卒業式
最上広域事務組合3月議会
24日 例月出納検査
28日 村内保育所卒園式
広域連合監査

地域おこし協力隊が来ました!

鶴川 慶三さん(32歳) & 鶴川 幸代さん(31歳)



この度夫婦で戸沢村地域おこし協力隊に着任させて頂きました。
着任して間もないところではございますが、どの地区にも戸沢村のことを真剣に考えておられる方々がいらっしゃいます。

た。そんな方々一人一人の想いが集まって最上川のような大きな流れになれるような地区の垣根を越える橋渡しができればと思っています。
よろしくお願いいたします。

議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

6月6日(火)～7日(水)

本議会は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局 ☎72-2113にお問い合わせください。

表紙の言葉

3月定例会初日に戸沢小学校6年生の皆さんから議会傍聴に来ていただき、一般質問では村議会議員と村長のやり取りを真剣に聞いていただきました。

編集後記

春の農作業が始まり、いかにも戸沢村らしい風景が見られる今日この頃ですが、作業をしながら、来年度以降の農業に対する不安視する会話が聞こえてくるようです。日本の主食である米や安全な野菜を誇りをもって生産できるような農業政策であってほしいものです。
最近、世界情勢が益々良くない方向に向かっていくようで心配です。悲惨な戦争だけは避けなければなりません。
編集にあたり、「議会だより」を皆様に楽しく読んでもらい、村の発展につながるような会話が增える日常になるよう今後も心掛けてまいります。

議会広報委員

田中 奨